

# 乙姫城

## 城山八幡神社の例祭

五月二日に城山の山頂に鎮座する城山八幡神社の例祭が、妻木町上郷の役員と城址の会役員が参列して行われました。

創建は安永二年（一七七三）八月あるいは、享和元年（一八〇一）といわれます。上郷妻木氏がかつての居城跡に神社を建立し、武運長久・子孫繁栄を願いました。  
現在の祠（ほこら）は平成十三年に新造されたものです。



妻木城址の会

〒509-5301

土岐市妻木町3051-1

八幡神社社務所内

TEL0572-57-6441

### 講演会のご案内

#### 『妻木城の保存と活用』

#### 全国の事例をヒントにして』

講師 中井均（織豊期城郭研究会代表）

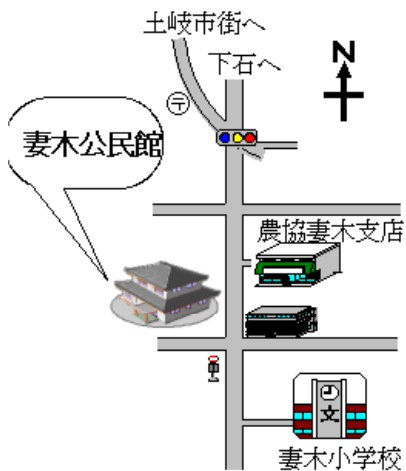
期日 六月十三日（日）午後二時より

場所 妻木公民館

どなたでも入場出来ますので、お誘い合わせの上ご来場下さい

妻木城址の会が発足して十年目を迎えました。この間に発掘調査も実施されるなど妻木城への関心は高まっています。妻木町の町おこしに、妻木城をどう生かしていくか考えてみたいと思います。

講師の中井先生は全国各地の城跡の調査だけでなく、町おこし運動にも詳しい方です。妻木城へも何度か来て頂いております。



## 第二回歴史散策 日帰りの旅のご案内

本年度は六月二十六日(土)に、美濃国一宮南宮大社と、旗本竹中氏陣屋など垂井町を訪ねます。南宮さんは土岐市内でも妻木町や土岐津町に祀られており、古くから信仰されていたことが伺えます。

竹中陣屋は、関ヶ原の合戦後五千石の旗本として菩提山城を廃城して山麓に構えた陣屋です。櫓門や石垣、堀などが残り、妻木城を考える上でも必見の所です。

垂井町周辺は、古代の壬申の乱、南北朝時代には土岐頼遠が北畠軍の進軍を阻止した青野ヶ原の合戦、四百年前徳川家康が勝利した関ヶ原の合戦と、三度天下分け目の合戦の舞台になった所です。

詳しくは別紙を参照下さい。

### 平成十六年度の主な行事

十月十日 八幡神社の流鏝馬

火縄銃と手作りよろい行列

十一月三日〜七日 妻木の文化財展(妻木公民館)

詳細はお知らせいたします。

## 総会のご案内

平成十六年度の総会を次の日程にて行います。

期日 六月十三日(日) 午後四時より

場所 妻木公民館

講演会終了後に予定しています。

平成十六年度主な事業予定

一、城山美化整備事業

草刈り作業・登山道の整備・一の曲輪周辺の雑木伐採

二、妻木公民館資料室に関する事業

資料収集と管理及び展示の協力・文化財展の実施

三、手作りよろい作りと火縄銃の実演

手作りよろい教室・妻木幼稚園親子教室

火縄銃の実演及びよろい行列・よろいキットの作製

### 新年度会費納入のお願い

同封の振込用紙か直接御持参下さい。会費は妻木城の下刈り作業や文化財展の実施などの経費に充てられています。ぜひ会員の継続をお願いいたします。

年会費は3000円です。



## 妻木公民館竣工 郷土資料室を併設

三月二十六日妻木公民館が竣工しました。外観は城郭風の白亜の建物です。歴史の町にふさわしい特徴として郷土資料室のスペースが設けられています。天井が吹き抜けになった展示室は、およそ一三〇平方メートルのスペースがあり、その奥に五七平方メートル程の収蔵庫が設けられています。

この展示室の運営企画は妻木城址の会にまかされています。展示室では現在仮オープンとして「妻木城の遺物展」を行っていますが、展示室の温度・湿度管理の問題や、収蔵品の収集・整理が一段落する今秋に正式オープンを予定しています。展示室は妻木の歴史が一目でわかる常設スペースと、期間限定のテーマを決めたスペースに分かれます。また毎年秋には「妻木の文化財展」を予定しています。

資料収集のお願い

大切な歴史資料を後世に残すために、資料の収集を行っています。現在では戦後の陶器や生活用品がごみ同然に処分されており、気が付くと何も残っていないという恐れがあります。特に妻木町で焼かれた陶磁器など後世に残す必要があります。時代が古い新しいにかかわらず一度お問い合わせ下さい。

資料室では資料を持つてみえる方の意向に合わせて次のような方法があります。

- 寄贈 資料室に寄贈いただきます
- 寄託 資料室が預かりします
- 借入 展示の為期間を決めてお借りします
- 記録 写真などで記録として残します

詳しいことは事務局にお尋ね下さい。